

県南教育事務所
教育情報

南風

平成29年1月10日(火)
No. 13【通巻第104号】
文責：皆川晃宏

管内教務主任研修会

平成28年12月6日(火)、東山地域交流センターで管内小・中学校教務主任研修会を行いました。研修会では、平成29年度の教育課程編成に向けて、国、県の動向及び県南教育事務所が掲げる指導の重点に合わせて今年度行った各種研修会の概要を説明しました。また、次期指導要領改訂に向けての「審議のまとめ」の中でも重要視されている「カリキュラムマネジメント」についての講義・演習を行いました。



講義「H29教育課程編成上の留意点」 —各種研修会で学んだことを生かす—

「いわての復興教育」の推進

★実践的な防災教育を中核とした復興教育の推進

- *副読本年間活用計画の見直し
- *日常の授業への復興教育の位置づけ

◎児童生徒の思考力・判断力そして、実践的な行動力につなげるために復興教育のさらなる充実を！

「確かな学力」の育成

★調査結果を活用した「学校の組織的対応の強化」

- *「調査結果活用レポート」を年度をまたいで活用
- *教務主任、研究主任が中核となった取組を展開

◎客観的データ(エビデンス)を活用した検証改善のサイクル(CAPDサイクル)の構築を！

「豊かな人間性」の育成

★いじめの防止に向けた組織的な取組

- *いじめの定義に基づいた対応の徹底
- *いじめに関する校内研修の実施

◎保護者・地域と「いつ」「どこで」いじめ防止の取組について共有するか明確に！

「健やかな体」の育成

★体力向上の取組

- *楽しさを追求する授業改善
- *健康教育に関わる担当者の連携

★学校保健・学校給食・学校安全

- *学校保健安全法等に基づいた学校経営
- *危機管理マニュアルの共有と訓練の実施

◎「希望郷いわて 元気・体力アップ60運動」の推進を！

「共に学び、共に育つ教育」の推進

★「個別の教育支援計画」の作成

- *学びの積み重ねの確実な引継ぎ
- *校内体制での特別支援教育の充実

◎合理的配慮の中で行う特別支援教育の推進と充実を！

カリキュラム・マネジメントについて

講師：岩手県教育委員会事務局
学校教育室

三浦 隆 主任指導主事



★次期指導要領改訂に向けて

- *児童生徒が急激な社会的変化の中で、未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に備えることができる学校教育を実現する。

★カリキュラム・マネジメント

*定義

- ・各学校が、学校の教育目標をよりよく達成するために、組織としてカリキュラムを創り、動かし、変えていく組織的かつ発展的な課題解決の営み。

*3つのポイント

- ・教科横断的な視点
- ・PDCAサイクルの確立
- ・外部資源の活用

*留意すること

- ・学校の強み、よさを生かすこと。
- ・組織的な取組とスケジュールを大切にすること。
- ・皆で議論し、共通理解、ベクトルをそろえること。



研修者の感想から

- ◎教育課程編成のポイントがわかったので、次年度の編成に役立てたい。
- ◎自分の役割を自覚することができた。
- ◎バランスのとれた教育課程を編成するためにも、各担当の先生と連携を図っていきたい。
- ◎カリキュラム・マネジメントについてのイメージをもつことができた。
- ◎わくわくするような学校を創っていけるよう努力したい。
- ◎全職員が同じベクトルで進む必要性を強く感じた。

キーワードは「**学校全体での取組**」です。教務主任と各担当との連携が重要になります。